

取扱説明書(日産編)

G-scvu

ご使用になる前に	2
はじめに	
安全にご利用になるために	4
診断機能	6
CAN診断サポートモニタ機能	7
キャリブレーションデータ表示機能	
作業サポート機能	

ご使用になる前に

ے	使用になる前に	2
	はじめに	.3
	安全にご利用になるために	.4

G-scvu
ご使用になる前に

本取扱説明書では、日産車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご 使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本 体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

C-scn 安全にご利用になるために

ご使用になる前に

- ■本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産 への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記 号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、 被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に 気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストは日産のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容 を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事 故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)および、
 車両停止状態(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)で実行してください。



● 日産車または、日産製造のOEM車以外に使用しないでください。

診断機能

診断機能	6
CAN診断サポートモニタ機能	7
キャリブレーションデータ表示機能	11
作業サポート機能	

C-scn CAN診断サポートモニタ機能

診断機能

車両に搭載されているCAN通信システムは、複数のシステムが互いに信号を送受 信しているため、CAN通信線に断線等の不具合が発生すると、各システムが制御 に必要な信号を送受信できなくなり、不具合箇所に関連した複数のシステムに作 動不良などが発生します。

CAN診断サポートモニタ機能では、CAN通信に異常がないか診断することが出来ます。

1)診断メニューから『CAN診断サポートモニタ』を選択して 「^{▲靼𝑘} ギ」 ボタンを押し てください

●診断メニ:	1> AT·CVT	+ 0
•	● 自己診断	•
	● データ表示	•
	● 保存 データ表示	•
*	🥌 CAN診断サポートモニタ	•
•	● キャリブレーションデータ表示	

<図:診断メニューにてCAN診断サポートモニタを選択>

2) CAN診断サポートモニタ画面が表示され、CAN通信の診断結果が表示されま す。



<図:CAN診断サポートモニタ画面>



3) CAN診断サポートモニタ画面に表示される項目は、診断する車両やシステムに よって異なり、『過去履歴付き』システムと、『過去履歴無し』システムとでは表 示される項目が異なります。

▶ メータ > データ表示(全	項目)	-		8/	+ 0
送信診断[現在]	UNKWN	DISPLAY C/U[現在]	***	
送信診断[過去]	0	DISPLAY C/U[過去]	***	
ECM[現在]	UNKWN	インテリジェントキー[現在]	***	
ECM[過去]	0	インテリジェントキー[過去]	***	
AT/CVT[現在]	UNKWN	EPS[現在]		UNKWN	
AT/CVT[過去]	0	EPS[過去]		0	
BCM[現在]	UNKWN	4WD[現在]		***	
BCM[過去]	0	4WD[過去]		***	
VDC/TCS/ABS[現在]	UNKWN	e4WD[現在]		***	
VDC/TCS/ABS[過去]	0	e4WD[過去]		***	
IPDM E/R[現在]	UNKWN	車間制御[現在]	***	
IPDM E/R[過去]	0	車間制御[過去]	***	
<< 1	/3	_	2/3		>>
【 機能 】1画面	iii (11)		記録	: 【 選折	「項目」

〈図:CAN診断サポートモニタ画面 過去履歴無し〉

▶ AT·CVT > データ表示	示(全項目)			81	+ 0
初期診断[現在]	OK				
送信診断[現在]	OK				
ECM[現在]	不明				
VDC/TCS/ABS[現在]	不明				
METER/M&A[現在]	不明				
車間制御[現在]	不明				
< 1	l/1				>>
機能 1画面	這羊糸田		記録	選折	項目

〈図:CAN診断サポートモニタ画面 過去履歴有り〉

≪CAN診断サポートモニタ表示例≫

表示項目	現在	意味
ᅔᄁᄇᆊᆍᄼᄣᄃ	OK	現在異常がない
初州彭图	NG	C/Uの異常(一部の C/Uを除く)
	OK	現在異常がない
送信診断		現在2秒以上送信できない
	UNKWIN	診断を行っていない
	OK	現在異常がない
C/U 名称		現在2秒以上受信できない
(受信診断)	UNKWN	診断を行っていない
		受信する C/U がない(オプションレス)

◆『過去履歴無し』システムの場合

◆『過去履歴有り』システムの場合

表示項目	現在	過去	意味		
		OK	現在も過去も異常がない		
送信参照	OK	1 - 39	現在は正常だが、過去に2秒以上送信できなかった		
达旧彭图			(数字はキーSW OFF→ON 回数を表わす)		
	不明	0	現在2秒以上送信できない		
	ок	OK	現在も過去も異常がない		
		1 - 39	現在は正常だが、過去に2秒以上受信できなかった		
C/U 名称			(数字はキーSW OFF→ON 回数を表わす)		
(受信診断)	不明	0	現在2秒以上受信できない		
	dalah dalah	***	診断を行っていない		
	ተተተ	ተተተ	受信する C/U がない(オプションレス)		

※注意と補足※

・ G-scan ベーシックを購入した場合にはオプションで拡張機能を購入しないとこの機能を 使用することが出来ません。

C-scn キャリブレーションデータ表示機能

診断機能

1) 車種・システム選択画面にて『AT・CVT』を選択して (*****) ボタンを押してく

ださい。通信が開始され診断メニューが表示されます。



〈図:車種・システム選択画面にてCVTを選択〉

 2)診断メニューから『キャリブレーションデータ表示』を選択して (■■■ ボタンを 押してください。

●診断メニュ	L → > AT·CVT	
• /	● 自己診断	• •
	● データ表示	•
	 保存 データ表示 	►
~	■ CAN診断サポートモニタ	Þ
•	👄 キャリブレーションデータ表示)

〈図:診断メニューからキャリブレーションデータ表示を選択〉

3) キャリブレーションデータ表示画面が表示されます。

→ AT·CVT > データ表示	示(全項目)			8/	+ 0
UNITキャリプレーションID1	0000	PLキャリブル	/ーションオフセット	118	
UNITキャリブレーションID2	0000	PLキャリブル	/ーションオフセッ	0	
UNITキャリプレーションID3	0000	Sec++U7	シーションマッフ	07	
UNITキャリフルーションID4	0000	Sec++U7	シーションケイン	-114	
UNITキャリプレーションID5	0000	Sec++U7	シーションオフ	92	
UNITキャリブレーションID6	0000	Sec++U7	シーションオフ	0	
LUキャリフドレーションマッフNo	29	SLキャリブル	/ーションマップ*No	00	
LUキャリブルーションケイン	601	SLキャリブル	/ーションケイン	-1124	
LUキャリプルーションオフセット	8318	SLキャリブル	/ーションオフセット	26616	
LUキャリブルーションオフセ	0	SLキャリブル	/ーションオフセッ	0	
PLキャリフジーションマップNo	06				
PLキャリフルーションケイン	-161				
<< 1	./2		2/2		>>
機能 1画面	言羊糸田		記録	: 暹扔	項目

〈図:キャリブレーションデータ表示画面〉



※注意と補足※

• G-scan ベーシックを購入した場合にはオプションで拡張機能を購入しないとこの機能を 使用することが出来ません。

C-SCAN 作業サポート機能 ^{診断機能}



- 作業サポートは日産のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を 十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

作業サポート対応項目については、製品サイト:G-scan.jpを参照してください。

https://g-scan.jp/g-scan/system-nissan.html

≪ エンジン 作業サポート「アイドル吸入空気量学習(急速TAS学習)」≫

1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して「「**** 」ボタンを押してください。

━=診断メニュ	> I))))	+ 0
•	● 自己診断	
	━ データ表示	Þ
	● 保存 データ表示	•
*	👄 アクティブテスト	Þ
•	━ 作業サポート	•

〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して

・ボタンを押してください。

━診断メニュ	1-> Iゾジシ	← <u>0</u>
• /	➡ アイドル吸入空気量(急速TAS)学習	•
	■ ETC学習クリア	•
	● 空燃比学習値クリア	•
*	━ 点火時期補正	•
•	● アイドル回転数補正	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

3) 確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご 確認いただき、よろしければ ペペン ボタンを押し、画面の指示に従って作 業サポートを実行してください。

▶ Iンシシン > アイドル吸入空気量学習(急速TAS学習)	+ 0
≪概要≫ 電子制御スロットル及びECCS C/U交換時等に、ある条件が成立した場合のみ アイトル回転数制御において必要最低限のアイトル空気量を学習します	^
≪用途≫ ・電子制御スロットル又はECCS C/Uのコネクターを外した場合は修復後、スロットルの全閉位置 学習(スロットル全閉時のスロットルセンサー出力値を学習)する必要があるため、スロットル全閉 位置学習を行う。(急速TAS学習ではない) ・電子制御スロットル又はECCS C/Uを交換した場合には、必要最低限のアイトル空気量を 学習する必要があるため、スロットル全閉位置学習及び急速TAS学習を行う。 ・アイトル回転数又は点火時期が基準値から外れている場合も急速TAS学習を行う 必要がある。	<u> </u>
なお、急速TAS学習は従来のIASによるアイトルベース回転数調整に相当するものである。	~
Ok ++>th I I I	

〈図:確認メッセージ画面 急速TAS学習〉

※注意と補足※

・ 確認メッセージは必ず最後までご確認ください。

手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

4) 作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。

エンシン > アイト	ル吸入空気	量(急速TA	(S)学習			+ 0
終了しました。						<u>^</u>
						~
Ok	キャンセル		I	I	I	

〈図:完了メッセージ画面 急速TAS学習〉

※注意と補足※

・表示される内容は実行する作業サポート項目によって異なります。

- · ≪ ABS 作業サポート「舵角センサー調整」 ≫
- 1) 作業サポート項目選択画面から『舵角センサー調整』を選択して 「*****」ボタ ンを押してください。

┣і诊断メニュ	L— > ABS	+ 0
•	● 舵角センサ調整	•
	■ 減速Gセンサ校正	Þ
	■ 横Gセンサ校正	Þ
	━ プレッシャセンサ校正	Þ

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『舵角センサー調整』の確認メッセージ画面に移ります。

	▶ ABS > 舵角センサ調整	+	۵
	≪概要≫ 舵角センサの中立点(直進位置)を調整します		^
	≪用途≫ 下記の該当作業を行なった時は、走行前に必ず舵角センサ中立点調整を行なって下さい ○:調整が必要 −:調整必要なし	۱.	
	 ・VDC/TCS/ABS C/Uを脱着したとき ・VDC/TCS/ABS C/Uを交換したとき ・舵角センサを脱着、交換したとき ・ステアリンが構成部品を脱着、交換したとき ・サスペッション構成部品を脱着、交換したとき ・サイヤを脱着、交換したとき 		~
I			

〈図:確認メッセージ画面 舵角センサー調整〉

※注意と補足※

・ 確認メッセージは必ず最後までご確認ください。

手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪ BCM_ルームランプ 作業サポート「ルームランプタイマー設定」≫

1)作業サポート項目選択画面から『ルームランプタイマー設定』を選択して

● 診街方メニュー > BCM_ルームランフ [®]	+ 0
● ルームランプタイマ設定	•

〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『ルームランプタイマー設定』の確認メッセージ画面に移ります。

確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

Ok	ボタンを押して、作業サポートを実行してくださし	,۱。
----	-------------------------	-----

	▶ BCM_ルームランフ° > ルームランフ%イマ設定	+ 0
	≪概要≫ インテリアルームランフ [®] タイマの作動を設定します	<u>^</u>
	≪設定値≫ ・ON (工場出荷時設定) ・OFF	
(~

〈図:確認メッセージ画面 ルームランプタイマー設定〉

3) 『ルームランプタイマー設定』の設定値変更画面に移ります。

設定値リストをタッチすると、選択可能な設定値のリストが表示されますので、 設定値リストから変更したい設定値を選択して ペパン ボタンを押してください。現在値が選択した値に変更されます。

この場合は、OKボタンを押すと、ONとOFFを切り替えることができます。

▶ BCM_ルームランフ° > ルームランフ %イマ設定		+ 🖸
項目名	現在値	単位
ルームランフやイマ設定	ON	
<u>項目名</u>	現在值	
-1	(# 11 - 1	
	<u> 値リスト</u>	
UN/OFF		×

〈図:設定値変更画面 ルームランプタイマー設定〉

※注意と補足※



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号 Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022 https://www.inter-support.co.jp https://g-scan.jp

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル[※])

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 → ① (ナビダイヤル[※])

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2021年6月発行 第21版 本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。 本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-3-21